

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

鹿沼市社会福祉協議会

目次

I 適切な法人運営と施設管理

1. 法人運営の確立
 - (1) 会議等の開催 ----- 1
 - (2) 会員制度の勸奨 ----- 2
 - (3) 事務の効率化 ----- 2
2. 効率的で適正な施設管理・運営
 - (1) 総合福祉センターの管理運営 ----- 3

II 総合的な福祉事業の推進

1. 福祉啓発の充実・強化
 - (1) 社協だよりの発行 ----- 4
 - (2) 第46回鹿沼市社会福祉大会の開催 ----- 4
 - (3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞 ----- 5
 - (4) 米寿記念品の贈呈 ----- 5
 - (5) 啓発物品の配布等 ----- 5
2. 関連団体等の育成と連携
 - (1) 福祉団体等の主体的な活動促進 ----- 5
 - (2) 民生委員児童委員・福祉事務所等との連携 ----- 6
3. 支援を要する世帯等への支援
 - (1) 生活福祉資金貸付実績 ----- 6
 - (2) 社会福祉金庫貸付実績 ----- 7
 - (3) 災害等見舞金支給実績 ----- 7
 - (4) フードバンクによる支援 ----- 7
 - (5) 成年後見制度普及啓発等事業 ----- 8
 - (6) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進 ----- 8
 - (7) 生活困窮者自立支援事業 ----- 9
 - (8) 「こども食堂ネットワークかぬま」との連携 ----- 10
 - (9) 引きこもり家族会 ----- 10
 - (10) 栃木県生活困窮者自立支援事業従事者研修 ----- 10

III 地域福祉活動の推進

1. 地区社協の活動支援と連携促進
 - (1) 第三期地域福祉活動計画の推進 ----- 11
 - (2) 地域の主体的な活動促進 ----- 11
 - (3) 地区社協間の連携 ----- 12
2. 安心生活創造事業の受託 ----- 12

IV ふれあいのまちづくり

1. ボランティアの発掘と育成
 - (1) ボランティア団体等の育成支援とネットワークづくり ----- 13
 - (2) ボランティア講座の開催と活動促進 ----- 13
 - (3) ボランティア団体等への支援 ----- 14

(4) 福祉機材の貸出	15
(5) 善意銀行の運営	16
2. ふれあいの心の育成	
(1) ボランティア活動の育成と福祉啓発の促進	16
(2) 各種相談・連絡研修	16
V 災害対策事業	
1. 鹿沼市災害ボランティアセンターの活動について	17
2. 令和元年8月九州北部豪雨災害（佐賀県）及び令和元年台風15号災害（千葉県）の対応	18
3. 講師派遣について	18
4. 研修等への参加	19
5. 視察等の受け入れ	19
6. 足立区社会福祉協議会との災害時相互支援協力に関する協定の締結	19
7. 被災地支援のためのワゴン車貸出し	19
VI 介護と自立支援	
1. 介護保険事業の推進	
(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）	20
(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）	20
(3) 通所介護事業（デイサービス）	21
(4) 訪問入浴介護事業	21
2. 在宅介護支援センターの運営	21
3. 障がい福祉サービス事業の推進	
(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）	22
(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業	22
(3) 訪問入浴サービス事業	22
VII 養護老人ホーム「千寿荘」の運営	23
VIII 障害者支援施設「やまびこ荘」の運営	25
IX 高齢者福祉センターの運営	27
<hr/>	
<参考資料>	28
1. 会費（年度別状況）	
2. 総合福祉センターの利用状況	
3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県民福祉のつどい）	
4. 関連ボランティア	
5. 共同募金の状況	
6. 鹿沼市みまもり隊月別活動状況	
7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況	
8. 障がいサービスの提供状況	
9. 高齢者福祉センター	

I. 適切な法人運営と施設管理

各種施策の推進母体としての適切な法人運営と運営基盤の強化を図るとともに、地域の福祉活動拠点として効率的な施設運営に努めた。

1. 法人運営の確立

(1) 会議等の開催

①理事会、評議員会等により適正な法人運営と幅広い情報収集に努めた。

開催日	会 議	出席者数	内 容
5月30日	理事会 (第203回)	11名	(1) 会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (2) 平成30年度事業報告の承認について (3) 平成30年度収支決算の承認について (4) 評議員候補者の推薦について (5) 評議員選任・解任委員の選任について (6) 評議員選任・解任委員会の開催について (7) 理事候補者の推薦について (8) 監事候補者の推薦について (9) 第178回定時評議員会の開催について
6月17日	定時評議員会 (第178回)	10名	(1) 平成30年度事業報告の承認について (2) 平成30年度収支決算の承認について (3) 職員就業規程の一部改正について (4) 理事の選任について (5) 監事の選任について
6月17日	理事会 (第204回)	10名	(1) 会長の選定について (2) 副会長の選定について (3) 常務理事(業務執行理事)の選定について
12月9日	理事会 (第205回)	9名	(1) 令和元年度第1次補正予算の専決処分について【報告】 (2) 鹿沼市災害ボランティアセンターの活動状況について【報告】 (3) 令和元年度全国社会福祉大会社会福祉協議会優良活動表彰の受賞について【報告】 (4) 会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (5) 令和元年度第2次補正予算について (6) 社会福祉法人足立区社会福祉協議会との災害時における活動等の協力に関する協定の締結について (7) 社会福祉金庫の不能欠損処理について (8) 理事候補者の推薦について (9) 評議員候補者の推薦について (10) 令和元年度第2回評議員選任・解任委員会の開催について (11) 第179回評議員会の開催について
12月20日	評議員会 (第179回)	9名	(1) 令和元年度第1次補正予算の専決処分について【報告】 (2) 鹿沼市災害ボランティアセンターの活動状況について【報告】 (3) 令和元年度全国社会福祉大会社会福祉協議会優良活動表彰の受賞について【報告】 (4) 令和元年度第2次補正予算について (5) 社会福祉法人足立区社会福祉協議会との災害時における活動等の協力に関する協定の締結について (6) 社会福祉金庫の不能欠損処理について

I. 適切な法人運営と施設管理

3月9日	理事会 (第206回)	12名	(7) 理事候補者の推薦について (1) 職員給与規程の一部改正の専決処分について【報告】 (2) 会長及び常務理事の職務の執行状況について【報告】 (3) 令和元年度第3次補正予算について (4) 訪問入浴介護事業の廃止について (5) 令和2年度事業計画について (6) 令和2年度当初予算について (7) 定款施行細則の一部改正について (8) 事務専決規程の一部改正について (9) 評議員候補者の推薦について (10) 理事候補者の推薦について (11) 副会長の選定について (12) 令和元年度第3回評議員選任・解任委員会の開催について (13) 第180回評議員会の開催について (14) 災害ボランティアセンター設置等に関する協定の締結について
3月24日	評議員会 (第180回)	12名	(1) 職員給与規程の一部改正の専決処分について【報告】 (2) 災害ボランティアセンター設置等に関する協定の締結について【報告】 (3) 令和元年度第3次補正予算について (4) 訪問入浴介護事業の廃止について (5) 令和2年度事業計画について (6) 令和2年度当初予算について (7) 定款施行細則の一部改正について (8) 事務専決規程の一部改正について (9) 理事の選任について

②監事監査

実施日	監査人	内 容
5月20日	小森基伊、黒本郁夫	平成30年度事業執行状況及び経理状況について

③内部監査の実施

実施日	監査人	内 容
2月17日	倉野和樹	やまびこ荘の帳簿等各種の管理について
2月19日	大貫雄一	高齢者福祉センターの帳簿等各種の管理について
2月20日	池田隆志	事務局の帳簿等各種の管理について
2月25日	福田史織	千寿荘の帳簿等各種の管理について

(2) 会員制度の勧奨

自治会長や地区社協役員等の関係者の協力により、会員の確保に努めた。

<会費募集結果>

() : 前年度比

会費区分	世帯数 (件)	口数 (口)	計 (円)	
普通会費 (1口 500円)	19,333	19,527	9,760,322	(2%減)
賛助会費 (1口 2,000円)	70	70	140,000	(2%増)

特別会費（1口3,000円）	25	28	85,000	(34%減)
団体会費（1口5,000円）	80	80	400,000	(3%減)
合計	19,508	19,705	10,385,322	(3%減)

【参考資料 P28】

(3) 事務の効率化

① ボランティア養成講座の一部を関係する団体に委託することで、事務の効率化を図った。

◇ 委託を実施した講座：手話講座、点訳講座

◇ 委託先 手話講座・・・鹿沼地区手話通訳者連絡会、鹿沼市聴覚障害者協会
点訳講座・・・点訳グループ「桐」

② クールビズやウォームビズを導入し、エアコン等の節電により事務費の削減に努めた。

2. 効率的で適正な施設管理・運営

(1) 総合福祉センターの管理運営

使用料の無料化、利用団体による自主管理及び、福祉団体事務室としての利用や継続利用を許可することで、施設の有効活用を図った。

また、敷地内点字ブロックやロビーのブラインド、灯油備蓄倉庫の扉など設置後30年が経過し破損が著しい箇所の修繕を実施して利用者の利便性の向上を図った。

<会議室等の利用実績>

単位：件、人

	午前		午後		夜		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
小会議室	64	425	104	796	14	135	182	1,356
中会議室	220	19	240	219	30	441	490	879
大会議室	51	868	71	1,341	24	703	146	2,912
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉活動の広場	98	1,279	105	1,263	32	521	235	3,063
生きがい広場	119	1,605	88	1,095	12	188	219	2,888
合計	552	4,396	608	4,714	112	1,988	1,272	11,098

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3/2～3/31 貸出中止。

【参考資料 P28】

<団体事務室の利用実績>

団体名	利用日数（日）
鹿沼市ボランティア連絡協議会	2
つくし会	2
鹿沼市老人クラブ連合会	195
合計	199

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

多くの関係団体からの協力と相互連携により、幅広い分野に渡る啓発事業や支援事業を展開し、福祉の心を育むとともに、市民ニーズに対応した総合的な福祉施策を推進した。
 <※当施策は主に共同募金（赤い羽根、歳末助け合い）の配分金を財源として実施した。>

1. 福祉啓発の充実・強化

(1) 「社協だより」の発行

広報紙「かぬま社協だより」を発行し、社協事業の周知を図った。前年度から継続して、団体会員や市内福祉関係機関へ発送することによりPRに努めた。

<「社協だより」の発行状況>

発行部数：毎回 31,200 部（全戸配布）

号 数	発行日	主な掲載内容
第 224 号	4 月 25 日	◇平成 31 度事業計画及び収支予算 ◇各地区活動の紹介 ◇各講座、補助金の募集 ◇新規採用職員の紹介
第 225 号	6 月 25 日	◇第 18 回ふれあいフェスタ活動報告 ◇令和元年度社協会員加入・会費納入のお願い ◇平成 30 年度事業報告及び収支決算 ◇認知症について頼りになる人第 8 号 ◇各講座、講習会、フードバンクなどの募集
第 226 号	9 月 25 日	◇生活相談・支援センター「のぞみ」からのお知らせ ◇赤い羽根共同募金運動がスタート ◇各地区活動の紹介 ◇認知症について頼りになる人第 9 号 ◇各講座、講習会、職員の募集
第 227 号	2 月 25 日	◇災害ボランティアセンター活動報告 (HEROs スポーツチャレンジ) ◇足立区社会福祉協議会と災害協定を締結 ◇各地区活動の紹介 ◇フードバンクの紹介 ◇各講座、講習会、職員の募集

※ 災害に伴い 12/25 号の発行を中止した。

(2) 第 46 回鹿沼市社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが参画し、共々助け合い、支えあう、思いやりのあふれる「福祉のまち鹿沼」の実現を目指し、社会福祉関係者が一堂に会し、鹿沼市社会福祉大会を開催した。

◇開催日：令和元年 6 月 29 日

◇会場：鹿沼市民文化センター 大ホール

◇来場者数：631 名

◇共催：鹿沼市

第 1 部 式典

① 大会会長表彰受賞者（合計 5 名・9 団体）

・社会福祉功労者 5 名・9 団体

② 大会会長感謝状受賞者（合計 61 名・3 団体）

・社会福祉推進者 59 名

II. 総合的な福祉事業の推進

- ・善行協助者・団体
 - ・篤行者団体 2名・3団体
- 第2部 講演会 講師：毒蝮 三太夫（俳優・タレント）

【参考資料 P28】

(3) 栃木県民福祉のつどいでの受賞

多年にわたって社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、社会福祉のさらなる発展を期して、栃木県民福祉のつどいが開催され、本市の功労者が表彰された。

◇栃木県民福祉のつどいにおける受賞

開催日 令和元年8月29日

会場 宇都宮市文化会館 大ホール

- ① 栃木県知事表彰受賞者
 - ・母子家庭等支援功労者 1名
 - ・共同募金運動協力団体又は協力者 2名
 - ・社会福祉施設・団体又はその従事者 7名
- ② 栃木県社会福祉協議会会長表彰受賞者
 - ・民生委員・児童委員功労者 3名
 - ・社会福祉施設・団体関係功労者 36名
- ③ 栃木県共同募金会会長表彰受賞者
 - ・共同募金功労者 4名

【参考資料 P29】

(4) 米寿記念品の贈呈

満88歳（昭和6年4月2日～昭和7年4月1日の生まれ）を迎えられた高齢者に、令和元年6月29日に開催された第46回鹿沼市社会福祉大会の第1部式典において記念品を贈呈し、米寿を祝った。

◇贈呈者数：599名（男213名・女386名）

(5) 啓発物品の配布等

①交通安全「赤い羽根の鈴」の配布

「交通安全赤い羽根の鈴」を市内の児童福祉施設に配布し、子供たちの福祉の心の育成と交通安全の周知に努めた。

◇配布数 2,125個（22施設）

②交通安全「黄色い帽子」の配布

市内の小学校へ入学する児童を対象に、交通安全として黄色い帽子を配布した。黄色い帽子は、登下校のサポートをするスクールガードリーダーの皆さんからも、好評である。

◇配布数：855個

③サンタクロース訪問事業

サンタクロースが在宅重度知的障害児・者の家を訪問して、クリスマスケーキをプレゼントすることによりふれあいや地域交流を促進した。

◇配布数 43個

◇協力 鹿沼中央ロータリークラブ・鹿沼市ボランティア連絡協議会

2. 関連団体等の育成と連携

(1) 福祉団体等の主体的な活動促進

関係団体の特色ある活動を支援し、自主的な団体活動を促進した。

<支援実績>

区 分	支援団体数 (団体)	金額 (円)
老人福祉団体支援	1	50,000
障害児・者福祉団体支援	6	220,000
児童・青少年福祉団体支援	13	410,000
母子・父子福祉団体支援	1	50,000
ボランティア団体支援	1	200,000
その他の福祉団体	3	500,000
合 計	25	1,430,000

(2) 民生委員児童委員・福祉事務所等との連携

地域の生活実態と市民意識を把握するため、歳末たすけあい運動において民生委員児童委員協議会連合会・福祉事務所等との連携を図り各種の事業を展開した。

<歳末たすけあい運動における調査・支援実績>

援助対象	援助内容	対象数	単価	金額(円)
① 支援を必要とする世帯	援助金 (世帯主分)	306	5,000	1,530,000
	援助金 (世帯主以外)	453	2,000	906,000
	援助金 (小中学校進学児童)	33	5,000	165,000
② 市内福祉施設通所者	援助金	166	3,500	581,000
③ 在宅重度知的障害児・者 (サンタクロース訪問事業)	クリスマスケーキ	46	3,400	156,400
④ 心身障害児通園ホーム 通所者	おもちゃ券	132	2,000	264,000
合 計		1,136		3,602,400

※①②は、援助金を商品券（鹿沼商工会議所・栗野商工会）に替えて配布。商品券については、一部割引を受けて購入しているため、配布額と購入に係る支出額は異なる。

3. 支援を要する世帯等への支援

各種貸付制度等により低所得世帯等に必要な援助をすることで、自立を促し生活の安定を図った。

(1) 生活福祉資金貸付実績

資 金 種 類	相談 件数	借入申請		貸付決定		貸付否決	
		件数	金額 (円)	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
総合支援資金	生活支援費	2	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0

II. 総合的な福祉事業の推進

福祉資金	福祉費	11	3	3,271,000	0	0	0	0
	緊急小口資金	4	0	0	0	0	0	0
	緊急小口資金 (特例貸付)	14	7	1,100,000				
教育支援資金	教育支援費	3	2	1,194,000	2	1,194,000	0	0
	就学支度費	2	2	552,000	2	552,000	0	0
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	1	0	0	0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金		0	0	0	0	0	0	0
合 計		37	14	6,117,000	4	1,746,000	0	0

(2) 社会福祉金庫貸付実績

貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
24	500,000

徴収不能欠損した件数 (件)	徴収不能欠損金額 (円)
4	110,000

償還指導	督促発送 (回)	面接 (回)	訪問 (回)	電話 (回)	住所照会 (件)
	2	1	30	14	10

令和2年3月31日現在 貸付中債権数	貸付債権数 (件)	貸付金額 (円)
	98	2,221,219

(3) 災害等見舞金支給実績

区 分	件数 (件)	単価 (円)	金額 (円)
風水害 (半壊)	0	5,000	0
風水害 (流出)	0	10,000	0
風水害 (床上浸水)	0	5,000	0
風水害 (弔慰金)	0	10,000	0
火災 (半焼)	1	10,000	10,000
火災 (全焼)	0	20,000	0
火災 (半壊)	1	5,000	5,000
火災 (全壊)	0	10,000	0
火災 (弔慰金)	0	10,000	0
住所不定者 (旅費)	4	500	2,000
合 計	6	—	17,000

(4) フードバンクによる支援

市民の方々からご寄付していただいた食品を、生活困窮世帯に対して無償で食糧を提供する「フードバンク」事業を行った。

食品の寄贈 270件 米 1,268kg 食料 1,159kg
 食品の配布先 298件 米 1,416kg 食料 1,124kg

(5) 成年後見制度普及啓発等事業

判断能力が不十分で、意思決定が困難な方の判断能力を補う成年後見制度における法人後見事業（鹿沼市社会福祉協議会が成年後見人等を受任すること）を実施した。また、栃木県社会福祉士会、リーガルサポートとちぎ支部の協力のもと、福祉関係者向け及び市民向けの成年後見制度普及啓発講座をそれぞれ実施した。

○法人後見事業受任件数

類型		受任件数 (件)
内訳	後見	7
	保佐	6
	補助	2
合計		15

○成年後見制度普及啓発講座（関係者向け）

と き 令和元年12月18日（水）
 ところ 菊沢コミュニティセンター 第1・2研修室
 参加者 26名

○成年後見制度普及啓発講座「はじめての成年後見制度」（市民向け）

と き 令和2年2月26日（水）
 ところ 鹿沼市社会福祉協議会 生きがい広場
 参加者 14名

(6) 日常生活自立支援事業（あすてらす）の推進

認知症高齢者等が自立した地域生活を送れるよう、生活支援サービス、金銭管理サービス、書類等預かりサービス等の各種サービスを提供した。また、市民への事業周知と生活支援員の養成を目的に講座を開催した。

◇サービス利用対象者

- ・ 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者等で判断能力が不十分な方
- ・ 虚弱高齢者、身体にハンディがある方で、在宅生活や入院・入所生活で自立した生活が困難な方

<相談対応実績> 令和2年3月31日現在（単位：件）

電話相談	1,233
来所相談	103
訪問相談	3
新規相談訪問調査・ケース会議参加等	105
合計	1,444

<支援実績> 令和2年3月31日現在

通常支援回数： 1,364回

<契約実績>

令和2年3月31日現在（単位：件）

H30年度契約総数	R元年度新規契約数	R元年度解約数	現契約数
77	12	8	81

Ⅱ. 総合的な福祉事業の推進

○あすてらす生活支援員養成講座「あすてらす、やってみっけ？」

と き 令和2年3月23日(月)
 ところ 鹿沼市社会福祉協議会 大会議室
 参加者 16名

(7) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、鹿沼市役所内に設置された「生活相談・支援センター(愛称:のぞみ)」の運営を受託し、相談員4名を配置して、生活困窮に関する各種相談に対応、就労支援や学習支援も合わせて行うことで、対象世帯が生活困窮状態から抜け出せるよう支援した。また、家計相談員を配置し、より幅広い相談に対応出来る体制づくりに努めた。

<相談対応実績> 令和2年3月31日現在
 相談件数:188件(うち就労者数:19名)

相 談 内 容	件 数(件)
病気や健康	9
住まい	11
収入・生活費	51
家賃やローン	7
税や公共料金支払い	7
債務	4
仕事探し、就職	23
仕事上の不安	3
地域と関係	0
人間関係	8
子育て、介護	1
引きこもり、不登校	6
DV、虐待	0
食べるものがない	4
その他	54
合 計	188

活動内容

(延件数)

面接	訪問	関係機関同行	プラン作成
537	467	135	31

(8) 「子ども食堂ネットワークかぬま」との連携

市内にある5か所の子ども食堂（1か所は開設予定）で組織する「子ども食堂ネットワークかぬま」定例会へ参加。

子ども食堂の周知及びボランティア育成を目的に地域住民とともにイベントを開催し、東部台子ども食堂の立ち上げを支援した。

開催日	会場	参加者数(名)
令和元年9月24日	西茂呂集会所	100
令和2年1月26日	東部台コミュニティセンター	60

(9) 引きこもり家族会

引きこもり状態になった本人とご家族を支援するため、家族会を開催した。

開催日	会場	参加者数(世帯)
令和元年11月21日	総合福祉センター	1 (1)
令和元年12月19日	総合福祉センター	5 (4)
令和2年1月16日	総合福祉センター	2 (2)
令和2年2月20日	総合福祉センター	2 (2)
令和2年3月19日	総合福祉センター	3 (3)

(10) 栃木県生活困窮者自立支援事業従事者研修

企画委員として参加

第1回 令和元年7月10日 「生活困窮者支援に必要な支援と相談支援の展開」

III. 地域福祉活動の推進

地区社協の活動を支援するとともに、地区社協間のネットワークの連携強化を図り、地域における主体的な福祉活動と地域の特色を生かした福祉施策を推進した。

<※当施策は主に会費を財源として実施した>

1. 地区社協の活動支援と連携促進

(1) 第三期地域福祉活動計画の推進

平成 30 年度に策定した第二期鹿沼市地域福祉活動計画（計画年度 H30～R4 年度）に基づき、市内 17 地区の地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会が地域の実情に合った福祉活動を推進した。

<補助金交付実績>

地区社協名	主な事業内容	補助金額（円）
板荷地区コミュニティ推進協議会	ボランティア活動推進事業	100,000
粕尾地区福祉活動推進協議会	① 高齢者サロン事業 ② 高齢者健康体操事業	① 77,000 ② 33,750
東大芦地区コミュニティ推進協議会	見守り事業	100,000
永野地区福祉活動推進協議会	高齢者サロン事業	100,000
中央地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	100,000
南摩地区福祉活動推進協議会	①地域活動に参加できる環境づくり ②健康づくり事業 ③なんまサロンの実施	①50,000 ②25,000 ③25,000
加蘇地区福祉活動推進協議会	ほっとサロン事業	20,856
西大芦地区福祉活動推進協議会	防災対策事業	45,000
合 計		676,606

(2) 地域の主体的な活動促進（ふれあいと創造・サービス事業）

市内の 17 地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会を対象に、助成金を交付し、それぞれの地区社協活動を支援し、地域の特性を生かした主体的な活動を促進した。

<地区社協への委託実績>

地区社協名	主な事業内容	助成金額（円）
北部地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問事業 ◇北小学校交流会	1,031,375
中央地区福祉活動推進協議会	◇高齢者おたのしみ会事業 ◇青少年健全育成	1,237,388
東部地区福祉活動推進協議会	◇青少年健全育成事業 ◇環境美化運動	1,473,644
菊沢地区コミュニティ推進協議会	◇三世交代流事業 ◇友愛訪問	1,582,076

Ⅲ. 地域福祉活動の推進

東大芦地区コミュニティ推進協議会	◇ふれあいフェスタ ◇ゲートボール大会	500,740
北押原地区福祉活動推進協議会	◇花いっぱい運動 ◇高齢者サロン事業	1,437,480
板荷地区コミュニティ推進協議会	◇体育祭 ◇ほっとサロンいたが	360,378
西大芦地区福祉活動推進協議会	◇リフレッシュ講座 ◇ふれあいスポーツ大会	284,469
加蘇地区福祉活動推進協議会	◇高齢者ふれあい事業 ◇ホットサロン事業	425,218
北犬飼地区福祉活動推進協議会	◇ふれあい祭敬老会 ◇そば打ち教室	814,827
東部台地区福祉活動推進協議会	◇健康スポーツ大会 ◇敬老会	1,631,621
南摩地区福祉活動推進協議会	◇なんまサロン ◇ふれあい農園	555,949
南押原地区福祉活動推進協議会	◇友愛訪問 ◇高齢者招待事業	620,192
栗野地区福祉活動推進協議会	◇高齢者サロン事業 ◇敬老会事業	564,035
粕尾地区福祉活動推進協議会	◇地区敬老会事業 ◇ふれあいサロン	368,671
永野地区福祉活動推進協議会	◇世代間交流事業 ◇友愛訪問	336,902
清洲地区福祉活動推進協議会	◇年越しそば配布 ◇世代間交流事業	402,035
合 計		13,627,000

※「給食サービス」は全地区で実施

(3) 地区社協間の連携

17 地区社協合同連絡会議を開催し、地区社協間の連絡調整や情報交換などを行った。

令和元年 5 月 31 日 議題 消費税増税に伴うにこにこ弁当の値上げ・地域包括ケアシステムの進捗状況について等

2. 安心生活創造事業(鹿沼市みまもり隊)の受託

高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目的に、市内 17 地区において見守り・相談活動を実施した。【参考資料 p 31】

見守り・相談延べ回数(鹿沼市全体): 48,038回

IV. ふれあいのまちづくり

各種イベントやボランティア講座の開催などをおし、市民相互の助け合いを促進するとともに、人と人との交流の輪を広げるなどした。

1. ボランティアの発掘と育成

(1) ボランティア団体等の支援とネットワークづくり

「第18回ふれあいフェスタ in かぬま」の開催支援

一人ひとりが力を合わせて行う手作りの祭典「ふれあいフェスタ in かぬま」の開催を支援し、福祉の心の育成と人々のふれあいの輪を広めた。

◇開催日：平成31年4月21日（日）

◇会場：市民情報センター1階及び駐車場

◇実施主体：第18回ふれあいフェスタ in かぬま実行委員会

◇来場者数：1,000人

(2) ボランティア講座の開催と活動促進

あらゆる年齢層を対象とし、幅広いテーマと具体的な体験学習をとおしてボランティア育成に努めた。

講座名		回数 (回)	受講者数 (名) 延べ人数 (名)	備考
手話講座 (初級)	昼の部 (5/20～)	10	5 40	講師：鹿沼市聴覚障害者協会 鹿沼地区手話通訳者連絡会
	夜の部 (5/20～)	10	12 109	
	昼の部 (9/6～)	10	11 106	
小学生ミニ福祉講座		2	26	講師：東日本盲導犬協会
中高生ボランティアスクール		3	36	災害ボランティア 13名 森林ボランティア（植樹）8名 聴覚障がい克服した講話 15名
合計 (3講座)		35	113 403	

②学校での体験学習開催

小中学校からの依頼に応じ、職員が講師となり校内で体験学習を開催した。

日時	学校名	内容	参加者数 (名)
7月4日	中央小学校	車いす・視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	130
9月10日	東小学校	車いす・視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	12
10月3日	みどりが丘小学校	車いす・視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	89
11月8日	みどりが丘小学校	車いす・視覚障がい体験 車いすバスケット、講話	96

IV. ふれあいのまちづくり

1月28日	中央小学校	講話	63
-------	-------	----	----

③学校での体験学習支援

小中学校、高校のボランティア学習に講師派遣を行い、自主的な学校事業を促進した。

区分	手話の体験学習	点訳の体験学習
小学校	20校 (82回)	25校 (53回)
中学校	2校 (20回)	1校 (4回)
高等学校	2校 (10回)	0校 (0回)
合計	24校 (112回)	26校 (57回)

- ・手話講師…鹿沼地区手話通訳者連絡会及び鹿沼市聴覚障害者協会
- ・点訳講師…点訳グループ「桐」

(3) ボランティア団体等への支援

①ボランティア団体の運営基盤強化

積極的に活動しているボランティア団体等 15 団体に活動援助金を交付し、運営基盤の強化を図った。

	団体名	援助金該当事業	交付額(円)
1	ボランティアふれあい	高齢者の生きがい活動	100,000
2	栃木県シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会福祉施設への慰問活動 (アフリカンダンス)	65,000
3	朗読グループいずみ	会員のスキルアップ研修	50,000
4	デイジーこだま	市広報等のデイジー版製作活動	30,000
5	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	介護・福祉ボランティア活動 (踊り・健康体操等)	50,000
6	介護服リフォーム “ミモザ”	障がい者や高齢者等の衣服リフォーム等	45,000
7	点訳グループ「桐」	視覚障がい者との交流会、点字指導等	100,000
8	お話ボランティアネットワークかぬま	会員のスキルアップ研修、傾聴活動	50,000
9	災害ボランティア「チームかぬま」	被災地支援活動	100,000
10	要約筆記サークルいちご	聴覚障がい者との交流ミニ講座等	100,000
11	フラダンスとりあえず	福祉施設への慰問活動	50,000
12	子育て支援クラブレインボー	親子交流活動 (のびのびすくすく)	100,000
13	ボランティアグループ春風	芸能活動による高齢者施設等への訪問活動	24,000
14	鹿沼地区手話通訳者連絡会	レベルアップ講座の開催	50,000
15	鹿沼市中途失聴難聴者協会	中途失聴・難聴者のための手話講習会等	83,000
	合計		997,000

②学校助成金配分金

児童・生徒の福祉意識の向上や学校の福祉教育への取り組みを推進するために、学校助成金配分金を12校に交付した。

	学校名	主な活動内容	交付額 (円)
1	鹿沼市立中央小学校	ボランティアさんに感謝する会運営費	60,000
2	鹿沼市立菊沢西小学校	福祉体験学習	32,000
3	鹿沼市立石川小学校	福祉体験学習	40,000
4	鹿沼市立楡木小学校	福祉体験学習	33,000
5	鹿沼市立みなみ小学校	総合的な学習	40,000
6	鹿沼市立永野小学校	保育園児への読み聞かせ等	27,000
10	鹿沼市立西中学校	富屋分校、福祉施設との交流事業等	59,000
11	鹿沼市立北押原中学校	北押原中ボランティア隊活動費	58,000
合 計			349,000

(4) 福祉機材の貸出

ボランティア等に機材を貸出することにより活動を促進した。

機材名	貸出回数 (回)	機材名	貸出回数 (回)
車椅子	191	着ぐるみ	7
高齢者疑似体験セット(大人)	11	綿菓子機	30
高齢者疑似体験セット(小人)	8	ポップコーン機	30
アイマスク	9	かき氷機	38
白杖	9	焼き芋機	4
パソコン	8	きね・うす	2
スクリーン	25	水槽	1
プロジェクター	24	発電機	6
机	6	ドラムコード	3
椅子	6	クーラーボックス	10
ベンチ	2	テント (1間×2間)	4
ボランティア号(ハイエース)	14	テント (2間×3間)	3

IV. ふれあいのまちづくり

ボランティア号 (シエント)	11	タープテント	3
ボランティア号(ラクティス)	2	合計	467

(5) 善意銀行の運営

ボランティア活動の調査研究や情報提供を行うとともに、預託いただいた金品の払出しにより、団体等の活動基盤を強化した。

< 預託金品取扱実績 >

単位：件、円

払出し先	30年度繰越金	元年度預託		元年度払出		次年度繰越金
		件数	金額	件数	金額	
指定なし	2,166,691	34	1,070,235	2	1,346,000	1,890,926
社会福祉団体	0	27	1,274,617	30	1,274,617	0
社会福祉施設	0	0	0	0	0	0
預金利息	0	2	18	1	18	0
合計	2,166,691	63	2,344,870	33	2,620,635	2,166,691
物 品	玄米 (15 キロ)、車椅子 (2 台)、子供用サークル歩行器、タオル (281 本)、野菜 (3 キロ)、商品券 (4,500 円)、チョコレート (3.2 キロ)		こども食堂ネットワークかぬま、鹿沼社協、鹿沼市やまびこ荘、児童養護施設ネバーランド、県立盲学校、フードバンク事業、鹿沼市災害ボランティアセンター			

2. ふれあいの心の育成

(1) ボランティア活動の育成と福祉啓発の促進

あらゆる世代がボランティア活動に参加し、福祉への関心や理解を深めることができるように「はじめてのボランティア (自分にあった活動を見つけよう!)」のパンフレットを作成した。



(2) 各種相談・連絡件数

市民が地域で安心して暮らせるように、貸付、あすてらす、成年後見制度等に関する各種相談事業を実施した。

< 相談・連絡実績 >

単位：件

事業名	社会福祉金庫	生活福祉資金	あすてらす	成年後見制度	合計
相談延件数	294	591	2,893	916	4,694

V 災害対策事業

令和元年10月12日未明に発生した「令和元年東日本台風」は鹿沼市に甚大な被害をもたらした。平成27年9月の「関東・東北豪雨」の経験をもとに「鹿沼市災害ボランティアセンター」を設置し約2ヶ月間にわたり市民の生活復旧に務めた。

また他の被災現場への職員派遣や、大規模災害支援のための街頭募金を実施した。

1. 鹿沼市災害ボランティアセンターの活動について

(1) 開設期間 令和元年10月15日～12月15日(40日間) ※ボランティア受け入れ日数

(2) 送り出し人数 延べ4,488名(1日平均112人)

(3) ボランティア団体受け入れ件数 延べ86団体

(4) ボランティア依頼件数 521件

(5) 主な協力団体(順不同)

① 事務局運営・コーディネート関係

足立区社協、栃木県社協、県内市町社協、鹿沼市ボランティア連絡協議会、チームかぬま等

② 生活復旧活動

足立区社協、鹿沼JC、連合栃木なんたい、鹿沼秋まつり若衆会、宇都宮大学、鹿沼高校、鹿沼東高校JRC、鹿沼商工高校野球部、鹿沼南高校インターアクトクラブ、作新学院高校、日光アイスパックス、日本財団、Gakuvo、天理教災害救援ひのきしん隊、ユナイテッドアース、鹿沼市ボランティア連絡協議会、チームかぬま、他多数

(6) 支援活動内容

① 災害ボランティアの送り出し

床上・床下浸水等の被害に遭った住宅の復旧のために、災害ボランティアを受け入れ、ボランティアが活動する上で、安全が確保できる状況にあるのかどうか事前にニーズの確認をした上で送り出した。

作業内容：家屋内外の土砂の除去、家具の撤去、ゴミ出し等

② 大学生等による被災者宅訪問活動

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議提供の「うるうるパック」を活用し、被災者宅を訪問することで、被災者に寄り添う生活支援活動を実施した。

③ 復興イベント「HERO'S スポーツチャレンジ」開催

被災世帯の集中していた旧栗野町地内にある小中学校の児童・生徒を対象に、復興イベント「HERO'S スポーツチャレンジ」を開催した。

(7) 運営体制

事務局長をセンター長、鹿沼市ボランティア連絡協議会長を副センター長とし、「受付班」「ニーズ班」「マッチング班」「資材班」「総務班」の5班及び「機動部隊」の体制にて災害ボランティアセンターを運営した。

(8) 運営会議

災害ボランティアセンターの活動方針を決定するにあたり、運営会議を開催した。

第1回	10/13	災害ボランティアセンター設置を決定
第2回	10/28	当面の間の開設予定であったセンターの開設期間の延長を決定
第3回	11/11	11/18より土日限定のボランティア受け入れ体制への移行を決定
第4回	12/2	センターの閉所を12/15に定め被災住民への訪問活動を決定

(9) 検証委員会

社協職員を中心に、鹿沼市ボランティア連絡協議会長、災害ボランティアグループチームかぬまのメンバーを交え、災害ボランティアセンターの対応について検証する場を設けた。オブザーバーとして県社協の職員も参加した。

第1回	1/24	センターの活動の振り返りと各班における問題点の洗い出し等を行う
第2回	2/14	今後の改善に向けた検証と活動記録の作成について確認を行う
第3回	3/6	次年度のセンターの活動計画及びBCP(事業継続計画)の策定の確認

2. 令和元年8月九州北部豪雨災害(佐賀県)及び令和元年台風第15号災害(千葉県)の対応

令和元年9月9日に発生した台風第15号による千葉県災害において、職員を派遣した。

(1) 職員派遣

日 程	活動場所	活動内容	備 考
9月29日～10月3日	千葉県鴨川市	災害VC業務	派遣職員1名

(2) 街頭募金の実施及び支援物資の提供

「現地には行けないがなにか自分たちにできることはないか」という市民の気持ちにこたえるため、被災地支援を目的とした街頭募金の実施及び支援物資の提供を行った。

① 令和元年8月九州北部豪雨災害支援(佐賀県)

開催日 令和元年9月7日
 会 場 まちの駅・新鹿沼宿
 募金額 74,424円

② 令和元年台風第15号災害支援(千葉県)

開催日 令和元年9月29日
 会 場 まちの駅・新鹿沼宿
 募金額 107,426円

協力団体 鹿沼市ボランティア連絡協議会、チームかぬま、ボーイスカウト鹿沼第1・4団
 鹿沼青年会議所、鹿沼東高校、東中学校

③ 北海道胆振東部地震

実施日 令和元年7月18日
 提供品 タオル111枚

3. 講師派遣について

災害をテーマにした講座の講師依頼を受け、職員を講師として派遣した。

日 時	団 体 名	講 座 名
7月5日	点訳グループ「桐」	災害時における障害者支援 災害時の段ボールトイレ作り
8月22日	栃木市社会福祉協議会	防災について学ぼう 段ボールトイレを作ろう

4. 研修等への参加

職員の資質向上と参加によるネットワークの構築を目的として、各種研修等に参加した。

- ① 災害ボランティアセンター運営者研修（主催 全国社会福祉協議会）
参加日 10月1日～3日 東京都
- ② とちぎ災害支援のあり方検討会（主催 栃木県社会福祉協議会）
参加日 5月9日、7月16日、8月27日、1月16日
- ③ 災害ボランティアネットワーク会議（主催 栃木県社会福祉協議会）
とちぎ市町社協災害支援担当者連絡会議
参加日 6月25日
- ④ 災害ボランティアセンター運営研修会（主催 栃木県社会福祉協議会）
参加日 9月24日、2月28日
- ⑤ 災害ボランティアセミナー in 栃木（主催 栃木県）
参加日 1月20日
- ⑥ 被災者の生活再建支援研修会（主催 栃木県社会福祉協議会）
参加日 12月26日
- ⑦ 栃木県災害福祉支援チーム員登録研修会（主催 栃木県）
参加日 6月22日、6月23日

5. 視察等の受け入れ

災害時対応の経験及び知識を活かし、視察団体等へ災害支援に繋がるよう視察の受け入れを行った。

日時	団体名	議題等
5月14日	中華民国桃園市水資源局 台湾大学 宇都宮大学	関東・東北豪雨災害における災害ボランティアについて 災害時対応検討をふまえた行政の課題と対応 災害ボランティアセンターについて

6. 足立区社会福祉協議会との災害時相互支援協力に関する協定の締結

地震等大規模災害が発生した場合又は災害が発生するおそれがある場合に実施する活動における相互支援協力を円滑に行うため足立区社会福祉協議会と協定を締結した。

7. 被災地支援のためのワゴン車の貸出し

ボランティア活動の移動手段として「災害ボランティアグループ“チームかぬま”」に貸し出した。

主な活動内容	活動場所(回数)
令和元年東日本台風被災地支援	宮城県丸森町(1)

VI. 介護と自立支援

介護保険指定事業者として常に質の高い在宅サービスの提供に心がけ、各種介護保険事業を推進した。また、介護予防・自立支援事業に取り組み、ねたきりや要介護状態への進行を防止するなど高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を支援した。さらに障がい者のための居宅介護・訪問入浴事業を推進した。

1. 介護保険事業の推進

(1) 居宅介護支援事業（ケアプラン策定等）

介護保険利用希望者への総合相談、サービス利用に際しての支援計画（ケアプラン）策定、さらに地域包括支援センターから介護予防ケアプラン作成を受託するなど、サービス内容を総合的にコーディネートした。また、鹿沼地区介護支援専門員連絡会運営委員として積極的に活動し情報の収集に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
居宅介護支援	888
介護予防支援	165
合 計	1053

【参考資料 P31】

<介護区分別実利用者数>

令和2年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
0	3	10	15	23	22	8	5	86

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

幅広い分野に渡る生活支援と土・日・祝日や時間外の対応など、利用者のニーズに即したサービスを提供した。また、利用者の生活意欲の向上と残存機能を生かしたサービス提供など、予防介護に努めた。さらに、サービス担当者会議等をとおり、関係機関との連携とより質の高いサービスの研鑽・提供に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数（延べ回数）
介護支援	2,323
介護予防支援	1,056
合 計	3,379

【参考資料 P31】

<介護区分別実利用者数>

令和2年3月31日現在（単位：名）

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	7	8	5	10	3	4	0	37

(3) 通所介護事業（デイサービス）

月例お誕生会、季節行事、ボランティアの協力による催し物など、デイサービスセンターで日中楽しく過ごしていただき、少しでも自宅で自立した生活ができるように、ご家族の負担を軽減できるようなサービスの提供を行うとともに、利用者の拡大に努めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ回数)
介護支援	1,785
介護予防支援	358
合 計	2,143

【参考資料 P31】

- ◇年間実施日数..... 249 日
- ◇1日あたりの平均利用者... 8.6 人
- ◇協力ボランティア数..... 団体数：9 団体、個人数：1 人（年間実施回数 64 回）

<介護区分別実利用者数>

令和2年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	5	2	4	6	4	0	21

(4) 訪問入浴介護事業

移動入浴車による訪問入浴サービスの提供により、要介護者を抱える家族の負担軽減を図った。
また、競合する事業所が増加する中、サービスに対する満足度を高めつつ利用者の固定化を進めた。

<サービス提供実績>

サービス名	利用回数(延べ回数)
介護支援	504
介護予防支援	0
合 計	504

【参考資料 P31】

<介護区分別実利用者数>

令和2年3月31日現在（単位：名）

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	0	1	0	0	2	3	6

2. 在宅介護支援センターの運営

要介護高齢者やその家族のニーズに対応した各種の保健福祉サービスが総合的に受けられるような様々な情報の提供を行い、在宅介護をして行く上での問題解決を図った。

<相談対応実績（延人数）>

令和2年3月31日現在（単位：名）

介護相談	医療相談	介護家族健康相談	保健福祉サービス	住宅改修相談	介護機器相談	介護保険相談	合計
30	6	3	1	3	4	5	52

3. 障がい福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で安心して暮らせるよう関係機関と連携を密に、生活意欲を引き出し、残存機能を生かし自立した日常生活が営むことができるよう支援をした。

(1) 居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障がい者宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や家事援助、生活に関する相談及び助言などを行った。

令和2年3月31日現在

実利用者数（名）		利用回数（回）
居宅介護等	6	46
同行援護	11	257

(2) 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

ご本人やご家族の希望する生活の実現や目標達成に向けての相談、また障がい福祉サービスを有効に活用するためにサービス等利用計画を作成した。さらに鹿沼市自立支援協議会相談支援部会や県西圏域連絡会へ参加し、情報の収集や相談支援技術の向上に努めた。

令和2年3月31日現在

サービス名	実利用数（件）
指定特定相談支援	42
指定障害児相談支援	0

(3) 訪問入浴サービス事業

地域生活支援事業により移動入浴車で居宅に訪問し、訪問入浴サービスを提供した。

令和2年3月31日現在

実利用者数（名）		利用回数（回）
訪問入浴サービス	2	125

Ⅶ 養護老人ホーム千寿荘の運営

利用者それぞれに応じた個別支援計画を策定し、きめ細やかな支援に努めた。また、明るく家庭的な雰囲気の中での行事やレクリエーション、クラブ活動、交流会を充実させ、地域や社会との結びつきを大切にした運営を図った。虐待や身元不明の高齢者を一時的に保護する高齢者緊急一時避難対応室運用事業は、今年度は該当者がなかった。4 期目の指定管理受託施設として、効率的な管理運営を行った。

(1) 利用者の状況

◇利用者数 44名 令和2年3月31日現在

◇年間異動者数 14名 (新規入所8名、退所6名)

◇高齢者緊急一時避難対応室運用事業利用者 0名 (単位:名)

月別利用者内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者 (定員60名)	42	42	43	42	43	43	45	46	45	45	44	44
緊急一時避難者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 年間行事実績

月	日	行事内容	利用者参加者数 (名)
4月	4日	花見会	全員
	16日	日帰りレクリエーション (出会いの森)	11
	21日	ふれあいフェスタ in かぬま	8
	25日	地域老人との交流会 (花岡町老人会8名、日吉町老人会10名)	全員
	29日	天理教清掃奉仕活動の受入れ (129名)	
5月	28日	日帰りドライブ (日光)	4
	30日	中央小学校4年生訪問・交流 (34名)	
6月	5日	やちよ会奉仕作業 (空き缶・ゴミ拾い)	10
	7日	シルバー大学同窓会鹿沼支部訪問・交流 (15名)	全員
7月	18日	納涼祭 (花岡町老人クラブ10名、日吉町老人クラブ18名)	全員
8月	6日	日帰りレクリエーション (出会いの森)	10
9月	18日	敬老式	全員
10月	9日	西中学校3年生交流学習受け入れ (14名)	
	17日	地域老人との観劇・カラオケによる交流会 (花岡町共寿会11名、日吉町寿14名)	
	21日	日晷そば招待	11
	24日	鹿沼そば商組合手打ちそば提供・訪問 (8名)	

	28日	日本舞踊宮崎会訪問（4名）	
	30日	西中学校3年生交流受け入れ（13名）	
	31日	日帰りレクリエーション（出会いの森）	9
11月	6日	日吉保育園日本太鼓の訪問・交流（30名）	
	6日	日帰りドライブ（那須）	5
	27日	富屋特別支援学校鹿沼分校中学部の訪問・交流（24名）	
12月	24日	クリスマス会・忘年会	全員
1月	9日	新年祝賀会	全員
2月	3日	節分豆まき	全員
	13日	板荷地区民生委員施設見学受け入れ（15名）	
	14日	菊沢地区民生委員施設見学受け入れ（21名）	

（3）地域等との交流

◇市内の幼稚園・保育園から中学校まで交流等の受け入れを積極的に行った他、一般のボランティア団体等の訪問・交流を図り、地域における利用者との交流や施設との連携及び理解を深めることができた。

VIII 障害者支援施設やまびこ荘の運営

利用者一人ひとりの個性と能力に沿った支援を行ない、また高齢化に伴う支援を加え、利用者が安全に楽しく生活できるよう余暇支援の充実を図った。また、心身ともに健康な生活が営めるよう利用者の健康維持及び体力増進に努めた。

さらに、公的施設としての役割を認識し、事業を展開するとともに、職員の資質の向上及び施設などの資源の有効活用を図り、効率的な管理運営に努めた。

(1) 利用者の状況(令和2年3月31日現在)

生活介護・施設入所支援	短期入所	生活介護(通所)	地域活動支援センターII
定員 30名	定員 6名	定員 10名	定員 5名
利用者数 23名	実利用者数 8名 (延利用数 581回)	実利用者数 14名 (延利用数 1027回)	実利用者数 2名 (延利用数 215回)

(2) 年間行事実績

月	日	行事内容	参加者数(名)
4月	5日	お花見(千手山公園)	31
	10日	鹿沼飲食業組合訪問(ラーメン80食)	36
	21日	「ふれあいフェスタ in かぬま」への参加	10
5月	14日	シルバー大学校ボランティア訪問 15名	27
	15日	千手山公園散策	31
	28日	保護者合同社会見学(中禅寺湖)	21(保護者6)
	30日	中央小学校 交流訪問学習(生徒4年生32名・教員2名)	31
	31日	保護者合同社会見学(日光江戸村)	21(保護者6)
6月	26日	加蘇中学校 交流訪問学習(生徒1年生11名・教員2名)	26
7月	4日	天理教清掃奉仕活動の受入れ(50名)	—
	18日	参議院選挙期日前投票	10
	26日	やまびこ祭り	75(保護者15)
8月	25日	若鮎会ボランティア訪問(カラオケ)	3
9月	3日	さつき手打ち蕎麦打ち会訪問(そば60食)	34
	4日	西中学校運動会への参加	6

	7日	加蘇中学校運動会への参加	7
	8日	お囃子演奏会	52 (保護者 10)
	25日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生14名) 1回目	29
10月	16日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生14名) 2回目	3
	21日	日晃そば招待事業	32
	24日	鹿沼そば商組合訪問(そば80食、うどん20食)	34
11月	2日	加蘇中学校祭への参加	7
	6日	中学校生徒交流訪問学習(西中3年生14名) 3回目	29
	7日	通所保護者合同食事会(日晃食堂)	8 (保護者 5)
12月	4日	天理教清掃奉仕活動の受入れ(40名)	—
	10日	入所者食事会①(ファミリーレストランBAN・B)	20
	17日	入所者食事会②(にれぎ裕鯨)	17
	19日	クリスマスチャリティー公演(はだかの王様)	13
令和 2年			
1月	16日	新年祝賀会	22
2月	4日	いちご狩り	32
	8日	プリティワールド(腹話術6名)	24
3月	31日	職員お別れ会	32
例月ボランティア		東芝ライテックユニオン(誕生者へカードや花プレゼント)、ボランティアいずみ(紙芝居ほか) かぬま文化・スポーツ振興財団(健康体操)、日本生命保険相互会社(一輪挿し生け花) 各種団体余暇ボランティア(カラオケ、フラダンス、マジックショー、ほか)	
定期行事		◇地域奉仕活動(空き缶ごみ拾い)年4回実施 ◇嘱託医往診、理髪、体重・血圧測定 ◇誕生会、お楽しみ会 ◇週間行事打合せ、支援会議、献立会議、一斉清掃、避難訓練	

(3) 保護者との連携

◇保護者会(総会、役員会、懇談会)を通し、保護者との連携と理解を深めた。

IX. 高齢者福祉センターの運営

高齢者一人ひとりが明るく希望をもち、個性を活かしながら生きがいのある健康的な生活を送れるよう、だれもが気軽に参加できる自主事業をはじめ、自動血圧計による健康チェック、教養の向上、さらに機能回復に向けた団体支援を総合的に提供した。

なお、高齢者の安全安心を図るため緊急時の連絡先の確認を実施した。

(1) 年間利用状況

開所日数 (日)	利用者数 (名)	利用料収入 (円)
283	82,049 (1日平均 287)	16,174,500

※ 利用者内訳

(単位:名)

60歳以上 (市内)	60歳以上 (市外)	中学生～ 60歳未満	小学生・ 障害者	無料利用者	利用者合計
54,329	7,810	6,606	6,829	6,475	82,049

【参考資料 P33】

(2) 自主事業の開催

各種の教養講座や健康管理を進めることで高齢者の生きがいづくりや身体機能の維持向上を図った。

内容	開催回数 (回)	参加者数 (延べ人数)
ウォーキング講座	2	342
いきいき体操講座	20回	359
らくらくヨガ講座	20	345
切り絵に挑戦講座	20	271
お楽しみ会	1	598
合計	81	1,951

(3) 施設の有効活用

教養講座の修了者や老人クラブ等の各種団体の活動拠点として、さらに高齢者の健康づくりの拠点として当施設の有効活用を図った。

内容	開催回数 (回)	参加者数 (延べ人数)
自主クラブの利用	136	2,209
各種団体の利用	16	390
機能回復訓練の実施	21	199
合計	173	2,798

(4) 改良、改善への取組み

- ・脱衣室のトイレに手すりを設置し、利用者の安全確保を図った。
- ・カラオケの受付開始時間を早めることで、利用者のサービス向上を図った。
- ・和室の椅子を増設し、利用者の利便性向上を図った。
- ・利用者の健康維持及び飲酒運転等の防止のため、令和元年10月1日より館内及び敷地内での飲酒の禁止を図った。

参考資料

1. 会費（年度別状況）
 2. 総合福祉センターの利用状況
 3. 社会福祉大会表彰受賞者（鹿沼市社会福祉大会、栃木県民福祉のつどい）
 4. 関連ボランティア
 5. 共同募金の状況
 6. 鹿沼市みまもり隊月別活動状況
 7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況
 8. 障がいサービスの提供状況
 9. 鹿沼市高齢者福祉センター
-

1. 会費(年度別状況)

会費区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)	口数	金額(円)
普通会費 1口 500円	21,381	10,685,565	21,256	10,626,656	20,434	10,224,198	20,112	10,052,290	19,527	9,760,322
賛助会費 1口 2,000円	97	194,000	96	192,000	102	204,000	68	136,000	70	140,000
特別会費 1口 3,000円	36	108,000	44	132,000	44	132,000	43	129,000	28	85,000
団体会費 1口 5,000円	68	340,000	72	360,000	79	395,000	83	415,000	80	400,000
合 計	21,852	11,327,565	21,416	11,310,656	20,659	10,955,198	20,306	10,732,290	19,705	10,385,322

2. 総合福祉センターの利用状況

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
延べ件数 (件)	1,111	1,612	1,360	1,287	1,272
延べ人数 (人)	10,511	11,536	11,687	10,999	11,098

3. 社会福祉大会表彰受賞者

(順不同・敬称略)

(1) 第46回鹿沼市社会福祉大会

①大会会長表彰受賞者

区 分	氏 名		
社会福祉功労者・団体	大島 道子	大森 尊治	土岐 明子
	楡木 和子	大森 セツ子	
	西茂呂いきいきほっと ホーム	ほっとホームたまち	ほっとホームみの
	ほっとホーム津田	ほっとホームうわの	ふれあいほっとホーム さかえ
	ほっとホームせんど	塩山さといもの会	ほっとサロン エリザベス会

②大会会長感謝状受贈者

区 分	氏 名		
社会福祉推進者	渡邊 義夫	人見 功	阿部 守
	宇塚 正	中川 文	小川 一男
	西賀 清子	矢野 明子	柳田 光彦
	安中 マサ	小谷野 裕子	小野口 巖
	野路 忠次郎	松田 道夫	鈴木 眞知子
	平原 美登利	福田 さと子	高野 里子
	福田 キヌ	田野井 陽子	田野井 栄一
	黒川 三次	小林 幸江	榎本 修一
	山中 道夫	福田 栄	渡邊 正義

	荒井 榮子	中山 光郎	斎藤 万里子
	大貫 恵子	向田 伸一	夔田 利夫
	星野 茂	山崎 幸子	鈴木 寿子
	渡邊 康	野澤 由美子	瓦井 コト
	福田 美枝	荻原 唯夫	斎藤 正士
	荻原 幸子	井上 淳子	大谷 禎男
	黒崎 通	黒川 喜美子	井野 百合子
	矢口 隆子	宮本 弘美	大塚 節子
	浅野 正子	福田 千枝子	畠山 光子
	太田 孝子	清水 トモ子	毛束 民子
	臼井 幸子	茂呂 正子	
篤行者	奈良部 實	眞生田 一昭	鹿沼木工団地協同組合
	株式会社 日晷	株式会社 安田測量	

(2) 第25回栃木県民福祉のつどい

① 栃木県知事表彰

区 分	氏 名		
母子家庭等支援功労者	川村 洋子		
共同募金運動協力団体又は協力者	徳田 正雄	横尾 光夫	
社会福祉施設・団体又はその従事者	川田 晴美	福田 孝子	長谷川 春枝
	斎藤 たお子	石黒 幸恵	田野井 晴美
	篠原 真奈美		

② 栃木県社会福祉協議会会長表彰

区 分	氏 名		
民生委員・児童委員功労者	佐藤 美知子	池田 光子	石塚 百合子
社会福祉施設・団体関係功労者	和代 町子	毛塚 龍造	大貫 昭夫
	鶴見 美穂	戸山 絵美	大貫 有香
	柏渕 うた子	福田 美紀子	吉成 容平
	福田 裕哉	半田 史子	細谷 恭子
	松本 トシ江	菊實 明美	石川 知子
	早山 麻美	小山 和子	高村 美恵子
	小泉 リサ	大門 真由美	佐藤 正人
	高山 即子	渡邊 弘之	大貫 知之
	阿久津 和子	加藤 充代	早乙女 真貴
	小林 善和	又市 真由美	渡邊 かおる
	堀田 昌延	神山 竜馬	石川 友絵
	木村 隆一	飯嶋 久美子	富田 吏加

③栃木県共同募金会会長表彰

区 分	氏 名		
共同募金功労者	阿部 守	人見 功	渡邊 義夫
	大貫 雄一		

4. 関連ボランティア

(1) 関連ボランティア数 団体数 31 団体

No.	名 称	主な活動内容	会員数(名)
1	まざあぐらす	絵本見せ語り・人形劇の定期公演	5
2	水の輪会	精神保健ボランティア	9
3	ボランティアみなみ	特養ホーム・独居老人との交流	49
4	鹿沼地区手話通訳者連絡会	手話通訳・聴覚障害者との交流	27
5	ふみの会大正琴	福祉イベント等への参加	16
6	鹿沼そば商組合	地域福祉活動	24
7	お話ボランティアネットワークかぬま	独居老人等の話し相手	27
8	介護服リフォーム“ミモザ”	高齢者・障害者への服飾支援	6
9	点訳グループ「桐」	点訳ボランティア、視覚障害者との交流	25
10	ボランティアグループ「あった会」	高齢者住居周りの修繕活動	13
11	ボランティアふれあい	特別養護老人ホーム奉仕	33
12	要約筆記サークルいちご	要約筆記ボランティア活動	31
13	朗読グループ「いずみ」	朗読ボランティア、視覚障害者との交流	17
14	おはなし会“ノア”	絵本・紙芝居・手遊び・歌遊び・工作	2
15	ボランティアグループ春風	舞踊、唄、三味線	11
16	フラダンスとりあえず	福祉施設慰問、地域イベント活動	18
17	栃木シルバー大学校同窓会鹿沼支部	社会奉仕活動	117
18	NPO 傾聴ボランティアチーム“ありのまま”	傾聴ボランティア	29
19	車椅子レクダンス普及会鹿沼支部	車椅子ダンス普及活動	18
20	ボーイスカウト鹿沼第4団	福祉施設慰問、社会奉仕活動	80
21	立正校成会鹿沼教会	社会奉仕活動	100
22	たのしく踊ろう会よさこい鹿沼	福祉施設慰問、社会奉仕活動	23
23	さくら会	大正琴	8
24	子育て支援サークルレインボー	子育て相談、体操等、絵本の読み聞かせ等	24
25	災害ボランティアチームかぬま	被災地支援、市内各種ボランティア活動	37
26	絵本とおはなしの会	絵本の読み聞かせ	17
27	鹿沼市中途失聴・難聴者協会	中途失聴・難聴者に関連する活動	18
28	宮崎会	歌・踊り、福祉施設慰問	7
29	デイジーこだま	視覚障がい者への情報提供(デイジー製作)	7
30	にほんご FC	外国籍市民の日本語学習等	7
31	プリティワールドボランティアグループ	腹話術、マジック等、オカリナ、ハーモニカ、バントマイム	16

5. 共同募金の状況

(単位：円)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
A 募金	4,965,000	4,866,000	4,748,000	4,464,000	4,727,000
B 募金	11,376,000	11,135,000	10,709,000	10,562,000	9,577,000

合 計	16,341,000	16,001,000	15,470,000	15,026,000	14,304,000
-----	------------	------------	------------	------------	------------

A募金：第1種社会福祉事業、更生保護事業、保育園を運営する事業、全県的に活動している福祉団体等の事業に配分されるもの。

B募金：第2種社会福祉事業、市町を単位とする社会福祉協議会の地域福祉推進事業に配分されるもの。

6. 鹿沼市みまもり隊月別活動状況

	65歳以上(人)	ひとり暮らし高齢者	シルバー世帯	隊員数	内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
鹿沼市	28,699	3,126	2,952	370	見守り・相談対象世帯	2,476	2,501	2,512	2,452	2,422	2,440	2,453	2,494	2,492	2,515	2,452	2,416	29,625	
					見守り・相談対象者数	3,196	3,224	3,235	3,163	3,173	3,145	3,171	3,207	3,220	3,265	3,176	3,070	38,245	
					見守り・相談延べ回数	4,071	4,047	3,868	3,886	3,866	3,961	4,095	4,088	4,082	4,034	3,981	4,059	48,038	
					内 訳	訪 問	2,367	2,288	2,263	2,286	2,278	2,351	2,494	2,443	2,462	2,415	2,346	2,489	28,482
						電 話	158	117	109	128	152	109	195	129	117	122	125	208	1,669
						その他	1,546	1,642	1,496	1,472	1,436	1,501	1,406	1,516	1,503	1,497	1,510	1,362	17,887
					宅配支援対象世帯数	8	2	6	12	4	4	3	3	30	16	22	3	113	
					宅配支援延べ回数	9	3	7	10	5	5	3	4	37	20	39	10	152	
					その他の支援延べ回数	150	146	142	130	112	153	156	140	159	150	129	153	1,720	

※65歳以上の高齢者数は、市保健福祉部高齢福祉課発行の「令和元年度鹿沼市町別高齢化率一覧表」による。

※ひとり暮らし高齢者数・シルバー世帯数は、令和元年度高齢者状況調査による

※隊員数：令和2年3月31日現在

7. 介護保険事業の各種サービスの提供状況

サービス内容		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
		実利用者(名)	利用回数(延べ回数)	実利用者(名)	利用回数(延べ回数)	実利用者(名)	利用回数(延べ回数)
ケアプラン作成	介護	95	952	98	945	73	888
	予防	16	156	16	153	13	165
ホームヘルプ	介護	21	3,015	22	3,003	22	2,323
	予防	16	1,339	20	1,204	15	1,056
デイサービス	介護	25	3,081	32	1,968	16	1,785
	予防	3	391	4	204	5	358
訪問入浴	介護	11	535	21	557	6	504
	予防	1	1	0	0	0	0

8. 障がい福祉サービスの提供状況

サービス内容	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)	実利用者 (名)	利用回数 (延べ回数)
居宅介護等	7	523	6	494	6	460
同行援護	8	271	10	255	11	257
指定特定相談支援	31	62	33	66	42	※258
訪問入浴サービス	3	196	3	130	2	125

※国の【モニタリング実施標準期間】の見直しで、支援の必要性の観点からモニタリングの質を高める取り扱いとなったため

高齢者福祉センター 利用者数累計表

(単位:名)

区分	市内(有料)利用者						市外(有料)利用者				無料利用者				利用者合計 ④(①+②+③)	開所日数⑤	1日平均 利用者数 ④÷⑤
	60歳以上		60歳未満		身障者・小学生		市外	キャンプ場	市外計②	未就学児他	免除(条8)	無料計③					
	60歳以上	60歳未満	60歳未満	60歳未満	身障者・小学生	市内計①											
12～17年度	500,498	107,029	51,566	659,093	35,722	35,722	50,028	50,028	1,808	412.0							
18年度	69,144	12,540	10,615	92,299	3,110	3,110	8,594	8,594	301	345.5							
19年度	67,798	11,437	9,978	89,213	2,684	2,684	7,620	7,620	302	329.5							
20年度	68,380	11,543	10,675	90,598	2,785	2,785	8,180	8,180	304	334.1							
21年度	68,749	9,482	10,033	88,264	2,657	2,657	8,716	8,716	302	329.9							
22年度	63,634	5,166	7,706	76,506	2,245	4,766	3,109	4,564	291	302.7							
23年度	55,889	4,109	7,244	67,242	1,968	4,171	2,996	4,274	295	263.2							
24年度	62,896	3,664	8,332	74,892	2,303	4,556	2,596	4,024	313	274.0							
25年度	63,052	3,377	8,248	74,677	2,166	4,777	2,443	3,875	314	272.3							
26年度	67,442	3,335	7,425	78,202	2,376	4,929	3,130	4,775	313	288.4							
27年度	64,094	7,400	9,153	80,647	2,528	2,528	3,573	5,017	301	293.0							
28年度	62,810	7,772	9,440	80,022	4,681	4,681	2,588	4,027	307	289.0							
29年度	57,060	7,114	8,154	72,328	5,274	5,274	2,087	3,291	282	286.9							
30年度	60,145	7,080	8,008	75,233	7,336	7,336	3,207	4,277	302	287.6							
元年度	54,329	6,606	6,829	67,764	7,810	7,810	5,444	6,475	2,836	28.9							
合計	1,385,920	207,654	173,406	1,766,980	85,645	23,199	114,311	127,737	8,571	289							

※ 12～21年度については、キャンプ場利用者を区別して集計していない。同様に、小学生未満の児童についても、区別して集計していないので、免除(条8)区分に含まれる。
 ※ 27年度より、市外料金及びキャンプ場利用者区分を廃止した。